

それぞれ企画した「蒲郡がっつりメシ」をPRする若旦那'Sのメンバー＝蒲郡市の三河海陽閣で



蒲郡がっつりメシ

日帰り客誘致へ楽しさ大盛り

蒲郡市の新たな食の魅力を発信しようと、若手の旅館経営者らのグループ「蒲郡若旦那'S」が十五日、「蒲郡がっつりメシ」を発表した。会席料理がメインの旅館で、あえて天井やカレーなどの大衆料理を前面に出し、若者らの日帰り客を誘致する。二月から市内の旅館を中心に十二施設でそれぞれのメニューを提供する。「がっつりメシ」は三河の食材を使ったボリュームのあるご飯ものが中心。手軽さを出すため一

若手の旅館経営者グループが企画

食二千円以下に設定した。

松風園では、大エビや三河産の夕チウオの天ぷらなどを使った「パワーツリー丼」を準備。八丁みそとごま油のたれも用意した。

富士見荘は、地元の漁師がパンと呼ぶ深海魚の刺し身も入れた海鮮丼を提供。天の丸の「メガうどん」は、三河産アサリのかき揚げをメインに六玉



がっつりメシの一例。三河産で水揚げされた魚などを使ったパワーツリー丼

三河の食材で丼やうどん

分のうどんが入り、「複数の人で食べるのも可」というほどの量がある。

蒲郡市の観光宿泊客数は二〇一一年に六十六万人余で、ここ一、二年は減少傾向。これまでの旅館日帰りプランは食事と温泉を楽しむだけで一人当たり五千円前後になることも多かった。今回は七月中旬までは、がっつりメシを注文すれば本人と同行者の温泉入浴料が一人五百二十五円になる特典プランも用意した。仕掛ける側は新たな客層の開拓に必死だ。

ほとんどのメニューが要予約。問い合わせは蒲郡市観光協会☎電0533(68)2526へ。

(坂口千夏)